



令和8年度 越前市味真野小学校スクールプラン



教育目標

校庭の桜のように、元気で優しくたくましい味真野の子を育てる

めざす児童像

- よく考え、進んで学ぶ子
- 健康でたくましい子
- みんな仲良く、優しい子
- 最後まで取り組む子

福井県教育振興基本計画

一人ひとりの個性が輝く、ふくいの未来を担う人づくり
 ~子どもが主役の「夢と希望」「ふくい愛」を育む教育の推進~
 こどものためにアクション!
 引き出す教育・楽しむ教育・ふるさと教育

越前市教育振興ビジョン

未来へ続く教育

- 学び続ける力を育む授業の実現
- ともに学ぶ心の育成
- ふるさとに学ぶ教育の推進
- 地域と協働した学校づくりの推進

重点目標

確かな学力の向上

- ◎言語活動を基盤に、学びを生かし、様々な場面へ広がる学力と思考力・表現力の育成
- わかる授業の実践による基礎基本の確実な定着
- 個別最適な学びの推進
- 基本的学習習慣の定着による主体的・計画的に学ぶ力の育成

豊かな心の育成

- ◎安心でき、居心地のよい学校・学級づくり
- 道徳教育の充実と人権意識の向上
- 教育相談の充実および教職員相互の連携

健やかな身体の育成

- 基本的生活習慣の確立
- ◎メディア利用における自律的な自己管理能力の育成
- 基礎体力の向上
- 健康教育・安全教育的の充実

地域と共にある学校

- 郷土愛を育むふるさと教育の推進
- 家庭・地域との連携
- ◎家庭・地域への情報発信
- 幼小中連携教育の推進

具体的な取組

- ・言語活動を軸とした授業改善を進め、児童が自分の考えを表現するとともに、学びを他教科や生活に生かすことができる力の育成に努める。
- ・単元の見直しをもち、わかる楽しさを体験させながら、基礎・基本の定着を図る。
- ・ICTや学習データを活用したり、一人一人の進度や習熟度に合わせた指導を進めたりすることで、主体的な学びと学力向上を図る。
- ・家庭学習や次の日の準備の習慣化により、主体的・計画的に学ぶ態度を育成する。

- ・異学年や学級、班での活動を通して、自ら計画・行動する中で達成感を味わい自己有用感を高めるとともに、一人一人が居場所を見つけ安心して過ごせる集団づくりを進める。
- ・道徳の授業での対話や人権学習を通じ、多様な価値観を認め合いながら自他を尊重し、差別やいじめを許さない主体的な態度を育てる。
- ・一人一人を大切にしたい児童理解と教育相談を充実させる。(教育相談週間、アンケート)
- ・全教職員が連携して、児童の小さな変化に気づき、個に応じた支援を行う。

- ・スマイリーカードの取組継続により、早寝・早起き・朝ご飯を推奨し、家庭と連携して基本的生活習慣の確立を図る。
- ・情報モラル教育の充実と、家庭と連携したインターネット10カ条の活用や長期休業中のルールづくり等により、自己管理能力を育てる。
- ・体育的な活動や行事に目標をもって取り組むことができるよう支援し、運動好きな児童を育てる。
- ・けがや病気、事故や災害、感染症等から自分の命を守るという視点から、健康教育・安全教育的の充実を図る。

- ・地域人材や資源を活用した教育活動を展開し、児童がふるさとへの愛着や誇りを持てるようにする。
- ・公民館や自治振興会、ボランティアとの密な連携を図る。
- ・学校便りや学年便り、H&S、HP等により、家庭や地域への情報発信を積極的に行う。
- ・保育園やこども園、中学校との交流や情報交換により、連携した取組を行う。

数値目標

- ・思いや考えを伝えることができると答える児童【90%】
- ・学習の内容がわかると感じている児童【90%】
- ・宿題を含めた家庭学習や次の日の学習準備ができてると答える児童【80%】

- ・相手の気持ちを考えて行動したり、誰に対しても優しく接したりすることができると答える児童【90%】
- ・学校に通うのが楽しいと感じている児童【90%】
- ・自分のことを認めたり、お互いに認め合ったりする取組を行っている教師【100%】

- ・基本的生活習慣について家庭と連携して指導を行っている教師【100%】
- ・早寝・早起き・朝ご飯・メディアコントロールを意識していると答える児童【90%】
- ・マラソンやなわとびに目標を持って取り組んでいると答える児童【90%】
- ・健康や安全に気を付けていると答える児童【90%】

- ・地域人材や資源を活用した取組を実施している教師【100%】
- ・地域の方と一緒に活動するのが楽しいと答える児童【90%】
- ・学校便りや学年便り、H&S、HP等で学校の取組がわかると答える保護者【90%】

校内研究では次のテーマのもとに教材研究を深め、指導力向上に努めます
 研究テーマ

自分の考えを深め、適切に表現する力
 —汎用性の高い「書く、話す・聞く、読む」力の育成—

「学校における働き方改革」に関して次のことに取り組みます

- ① 行事や時程表、業務内容の見直しのさらなる推進と明確化・適正化
- ② 校務支援システムなどの有効活用による業務や情報共有の効率化
- ③ 会議の時短とペーパーレス化
- ④ 校内OJTの推進
- ⑤ 相談しやすく協力し合える職場づくり